

祈りについて②謙り

ルカHKJCF18:9-14

2013,11,17

概要

序)①キリストを王として迎え入れる祈りと信仰②祈り: 1)求め→神との出会い(自己の備えザ・信仰v8)→2)謙遜

1、パリサイ人と取税人の譬え V9-13

2、聖書の教え(1),(2) V14

3、結論と祈り

「神様、あなたの赦しの愛の中で私が何者であるかを認めさせてください。そして更に豊かな祝福へと導いてください」

詩8:3-9

I パリサイ人と取税人の譬え

1、不正な裁判官と同様ルカのための譬え

2、2人の祈り

①パリサイ人(自分に祈る)

1)自己義認 2)人との比較

3)神様の前で業績を主張→自己礼拝

②取税人(神様に祈る)

1)神様の前での認罪 2)謙り

3)神様の憐みが全て→神様を礼拝

II 聖書の教え(1)

1、パリサイ人の罪→ユダヤ人の罪

→キリスト者の罪(現代のパリサイ人)

⇒十字架の福音をこれだけ学んでいるのに人を裁き、自分自身と自分の生活には適用せず、謙れない私たち ローマ12:1

2、自分を高く(礼拝)するあなたは何者か

①復讐する ローマ12:19

②裁く ローマ14:4

③悪口を言う ヤコブ4:11-12

III 聖書の教え(2)

1、自分を低くする者の幸い

①礼拝の姿勢 ローマ12:1

②人への奉仕 ローマ12:3

③神様との出会い ルカ23:39-43

2、神の喜ばれる魂

①砕かれた魂 詩編51:16-17

②祝福 ヤコブ4:8-10

③感謝 詩編8:3-9

IV 結論と祈り

1、謙遜は神様から頂くもので、人造の謙遜は傲慢の双子の兄弟です

2、謙遜は神様の愛の中で自分が何者であるか認め、人との比較から解放され、神と人の前に砕かれて生きることです

3、イエス様の謙り(神↓人、人↓十字架 ピリピ2:6-11)が私たちのゴールです

⇒謙遜はキリスト者の最高の品性・祝福・特権です